

浜岡原子力発電所 3.4 号機 給水ポンプ駆動タービンの点検完了について

2014 年 3 月 28 日

当社は、浜岡原子力発電所3、4号機の低圧タービン動翼取付部にひび等を確認したことの水平展開として、同構造の動翼取付部を有するタービンについて点検をおこなってきております。

このうち、3、4号機に2台ずつ設置している給水ポンプ駆動タービン※1について点検が完了しましたので、お知らせします。

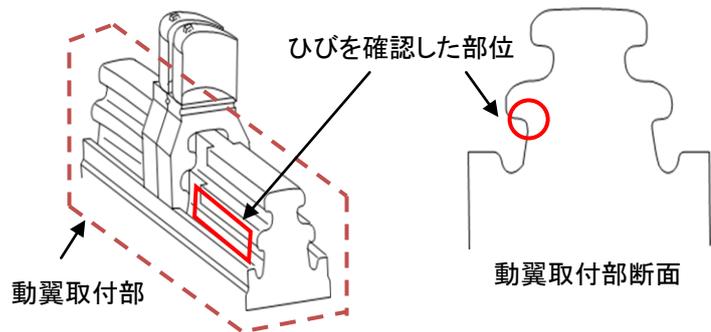
(1)点検結果について

給水ポンプ駆動タービンの動翼取付部について、超音波探傷検査(UT)※2をおこなったところ、3号機(A)の第6段、3号機(B)の第6段および4号機(B)の第5段に有意な指示波形を確認しました。

これら部位の動翼の取外しをおこない磁粉探傷検査(MT)※3を実施した結果、ひびを確認しました。



給水ポンプ駆動タービン(4号機)



動翼取付部

(2) 原因について

4号機の動翼取付部の顕微鏡によるひびの表面観察結果、ならびに低圧タービン動翼取付部と同様の材料、使用環境および応力状態であることから、今回確認されたひびは応力腐食割れ(SCC: Stress Corrosion Cracking)によるものと推定しました。

今後、対策について、検討してまいります。

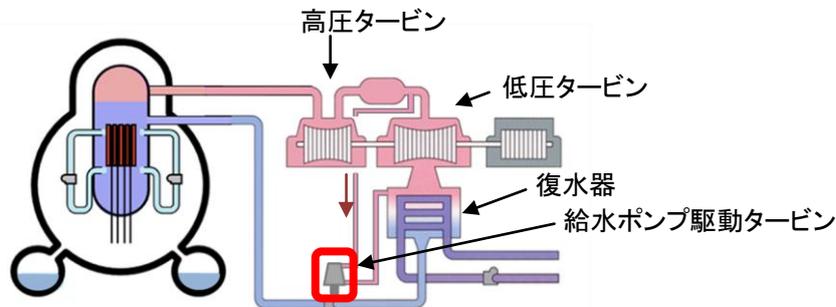
なお、同構造の動翼取付部を有する高圧タービンのうち、点検が完了した3、4号機高圧タービンに異状は確認されておられません。

(これまでのプレスリリース)

浜岡原子力発電所 3号機および4号機 低圧タービン動翼取付部のひび等に対する点検結果および原因と対策について

(2013年6月21日 [お知らせ済み](#))

※1 給水ポンプ駆動タービンは、原子炉で発生する蒸気を使って原子炉給水ポンプを駆動するタービンです。



※2 検査対象物に超音波を入射し、対象物の内部を超音波の反射波により調査する検査です。

※3 検査対象物に磁界を作用させたときの磁粉模様により、対象物表面(表面近傍の内部を含む)を調査する検査です。

以上